

一 現地研究会記事 一

現地研究会の概要

幹 事 沢 村 浩

昭和46年度の現地研究会は下記の要領で実施されました。札幌を起点として道南地方を一周する3日間のコースは、全行程約900Kmで、3日間ほとんどバスに乗り通してした。幹事の手違いから初日の昼食がおくれたり、その他いろいろとゆきとどかなかつたことが多かつたと思います。紙面を借りて深くお詫びいたします。

また、道南農業の概要について説明をいただいた道南農試小林場長、および現地で説明された鹿部村、大野町、上ノ国町、八雲町の担当職員のかたがた、トラピストの浦口牧場長、シャロレー牧場の曾田牧場長の各位には深く感謝いたします。

賛助会員のうち、内藤ビニール工業所以下26社から、計13万2千円の寄附をいただきました。あわせて深く感謝いたします。

なお、参加人数が100名を越えると、共済組合などの宿泊施設では収容できなくなり、観光地の団体客専用の旅館を利用することになって、どうしても経費がかさむようになります。そのため、今までの現地研究会にくらべて参加費が高額になってしまいました。御了承下さい。

記

1. テーマ 道南草地農業の実態と問題点
2. 開催時期 昭和46年10月1日～3日
3. 参加人員 123名(ほかに青森県から10名参加)

4. 日 程

第1日

- 1) ニツカウイスキー余市工場
- 2) 鹿部村営放牧場
- 3) 大沼(泊)

第2日

- 4) 大野町営草地(道南農試、小林場長から「道南農業の概況」について説明)
- 5) 上ノ国肉牛繁殖育成センター
- 6) トラピスト牧場(当別)
- 7) 湯の川(泊)

第3日

- 8) 曾田シャロレー牧場(駒ヶ岳)
- 9) 八雲町営育成牧場